会 議 名	令和８年度第３回青少年健全育成推進員会議
日　　時	令和８年１０月２日（金）午後２時００分～午後３時００分
場　　所	豊明市役所新館３階　政策審議室
出 席 者	市青少年健全育成推進員（６名） 　成田代表、伊藤副代表、木下委員、柴田委員、横山委員、大久保委員 事務局（２名） 　安藤（係長）、渡邉
議　　題	会長あいさつ 報告 １ 令和８年度中学生の主張大会について 議題 １ 令和９年度中学生の主張大会について 　令和９年８月２１日（土）文化会館小ホール１４：３０～　（予定） ２ かぞく川柳について ３ 家庭の日ポスターの募集結果について
推進員からの意見等	**１　令和８年度中学生の主張大会について** １）来場者数等の結果を報告。来場者数が昨年度より 20 名ほど増加している要因は、星城中学校音楽部を見に来られる方が多かったこと、発表者のうち１名が少年の主張県大会に選出されたことが考えられる。 ２）振り返り・反省点 ＜受付について＞ ・受付を３０分設けたが、２０分でよいと感じた。 ・区ごとの集計だと来場者が戸惑うことがある。市内、市外のくくりに変えようと思っている。 →【推進員】年代別で分けるか、市内市外で分け、年代を言ってくれる人には年代を聞くか。年代が分かることで、どれぐらいの世代の人が来ているのかがわかり、今後、どこをメインに周知すれば良いかや、今後の企画の参考になる。 【推進員】何中学校区の関係者かで分けるのもよいと思う。そうすることで、地区連絡会でも報告ができる。 →どの分け方で集計するか、事務局で再度検討し、決定する。 ・【推進員】受付ボランティアは問題なく集まったのか →先着順で募集し、募集を開始してすぐに枠が埋まった。 ＜リハーサルについて＞ ・中学生のリハーサルは、今年度のように、文章を全部は読み上げない形でも問題ないように感じた。 →【推進員】今年はリハーサルが短かったため、控室で声出しを行った。中学生が胸を張って堂々と発表できるような時間を設けたい。 ＜進行について＞

・昨年度、作文発表の流れが淡々としすぎていたというご意見をいただいたため、今年度は一人一人の発表の合間に司会を一言はさんだ。今回は当日、急遽柴田委員に発表者への聞き取りを行っていただき、それぞれの紹介を行ったが、来年度は、事前に発表者から紹介内容を提出してもらうことを考えている。

・めくりではなくスクリーンで代用したが問題なかったように感じたため、来年もこの形で行きたい。

・【推進員】教育長の講評が長く、教育長の印象が作文に勝ってしまう。教育長には、発表者全体対して一言話していただき、個別の講評は、後から発表者一人一人にお渡しするのが良いのではないか。

→そういったことが可能か検討する。

＜その他＞

・【推進員】受付の中学生ボランティアには、ボランティア証明を発行したか。

→発行した。

・【推進員】昨年度からかぞく川柳入賞者への記念品を、マーカーペンセットから図書カードに変えたが、入賞者の子から、図書カードになって嬉しいとの声をいただいた。

・【推進員】「中学生の主張大会」「少年の主張」とシナリオの中で、2種類出てきているので、統一したほうが良いと思う。

・【推進員】今年度は作文発表の部分のみのめくりを担当したが、かぞく川柳の部分のめくりもできるので、もしやる必要があれば言ってほしい。

2　令和８年度中学生の主張大会について

・令和９年８月２１日（土）開催予定。５５周年記念行事の表彰を午前中に行う予定であるため、受付開始は午後２時 10 分、開会は午後２時 30 分を予定している。リハーサルサルは１２時頃から開始する予定。

→【推進員】今年度は２時３０分開会だったが、終了が５時頃になってしまうのが気になった。来年度開は、開会を遅くとも２時にするか、大会自体を短くして、もう少し早い時間に終了できるようにしたい。

→午前の予定が確定してきたら、可能な限り調整したい。

・今年度作文の発表の長さの設定に余裕がなかったため、来年度は今年度よりも５分長く設定する予定。一方で、かぞく川柳の表彰の時間は余裕があったため、今年度よりも５分短く設定する予定。

・来賓は今年度同様、市議会議長と県議会議員をお呼びする予定。

3　かぞく川柳について

＜かぞく川柳の入賞作品数について＞

現在、広報に毎月載せるために入賞作品数を 12 としているが、応募数に対して、入賞者数が多く、票数が少ない物でも入賞している。また、同じ人が何度も選ばれるということが起こりやすい。そのため、入賞作品を、例えば６程度に減らしたいがどうか。

→【推進員】応募が少ない現状を考えると、入賞作品数は減らすべきだと思う。

【推進員】6ぐらいにして、一つ一つに「〇〇賞」というような名前を付けたらどうか。

【推進員】本当は、少ない応募数に合わせるのではなく、応募数を増やす方向にもっていきたい。申込期間を1年中にして、毎月 LINE で過去の作品の紹介＋申込フォームを掲載したい。通年募集にすれば、表彰時に、次回の表彰分の募集用紙を主張大会の受付で配付することができる。来年度表彰分については、通年募集にすることは間に合わないため、可能な限り早めに募集したい。

→12 月広報で募集を呼び掛ける。今後、通年募集にするかどうかは検討させてほしい。

【推進員】広報の掲載については、8月 9 月ぐらいに一括で掲載するのはどうか。毎月載せない代わりに、今のようにお知らせ一覧に載せるのではなく、枠を大きくとって載せてもらいたい。

＜選考方法について＞

現在地区の委員長にも投票をお願いしているが、地区の委員長に比べ推進員の人数が少ないため、推進員の意向が反映されにくい。一方で、投票していただくことで、地区の委員長にも関心を持っていただくきっかけにもなっている。それを踏まえて来年度の選考方法をどうするか。

→【推進員】地区の委員長には、引き続き投票をお願いしたい。推進員の票については、点数を 4 倍にするなどして地区の委員長の票とのバランスをとりたい。

→細かい選考方法については、いただいた意見を踏まえて検討する。

4　家庭の日ポスターの募集結果について

今年度は小学校から１４作品、中学校から３作品が提出された。作品は既に愛知県へ送付済み。